

盲腸が冷えた。

義兄がインバネスを呉れた。

梅田から二宮までの切符を買ふ。

途中下車して停車場で顔を洗つた。

朝だ。

腹が痛む。

雪が眞つ白に積つてゐる。

雞が居たらしい。

無想庵は散髪しだてど、イボンヌの利己的の我的の強い事を冒頭に話した。

「今の汽車で来たのかね。」

春子も足へ腫れ物が出来て、家へ歸つて居るよ」

文子夫人が出て来た。

盛装してゐた。